



ITベースのネットワーク化社会における 環境と高齢者に優しい都市づくり： 欧州スマートシティ イニシアチブ

第3回「環境未来都市」構想推進国際フォーラム
2013年10月19日、北九州

ウォルフガング・ホフ
欧州委員会

通信ネットワーク・コンテンツ・技術総局
スマートシティとサステナビリティ部門



■ 背景

- EUにおける現在の都市化レベル：
現在75% 2020年までに80%に
- スマートシティとは、テクノロジーの賢明な活用と、コミュニティの経済・社会的活動と密接に関連する革新的かつ透明性の高い都市計画とを通じて、サステナブルな経済発展と質の高い生活の触媒となる、人に関わりエネルギーと物とサービスと金銭の流れを伴うシステムであると考えられる。

■ 欧州の20-20-20目標

- 2020年までにGHG(温室効果ガス)を20%削減(1990年比)
- 再生可能エネルギーの使用比率を20%に



■ 目標

- EUの気候/エネルギーに関するターゲットの達成に貢献できるような、地域レベルでの統合的なエネルギー/交通/ICT(情報通信技術)ソリューションの開発と展開を促進すること

■ 最終的なターゲット

- 欧州の多くの都市をスマートシティ化すること

■ 目標達成の方法

- 選ばれた大規模実証プロジェクトへの資金提供
- 水平的な重点活動を通じ、スケールアップに備える

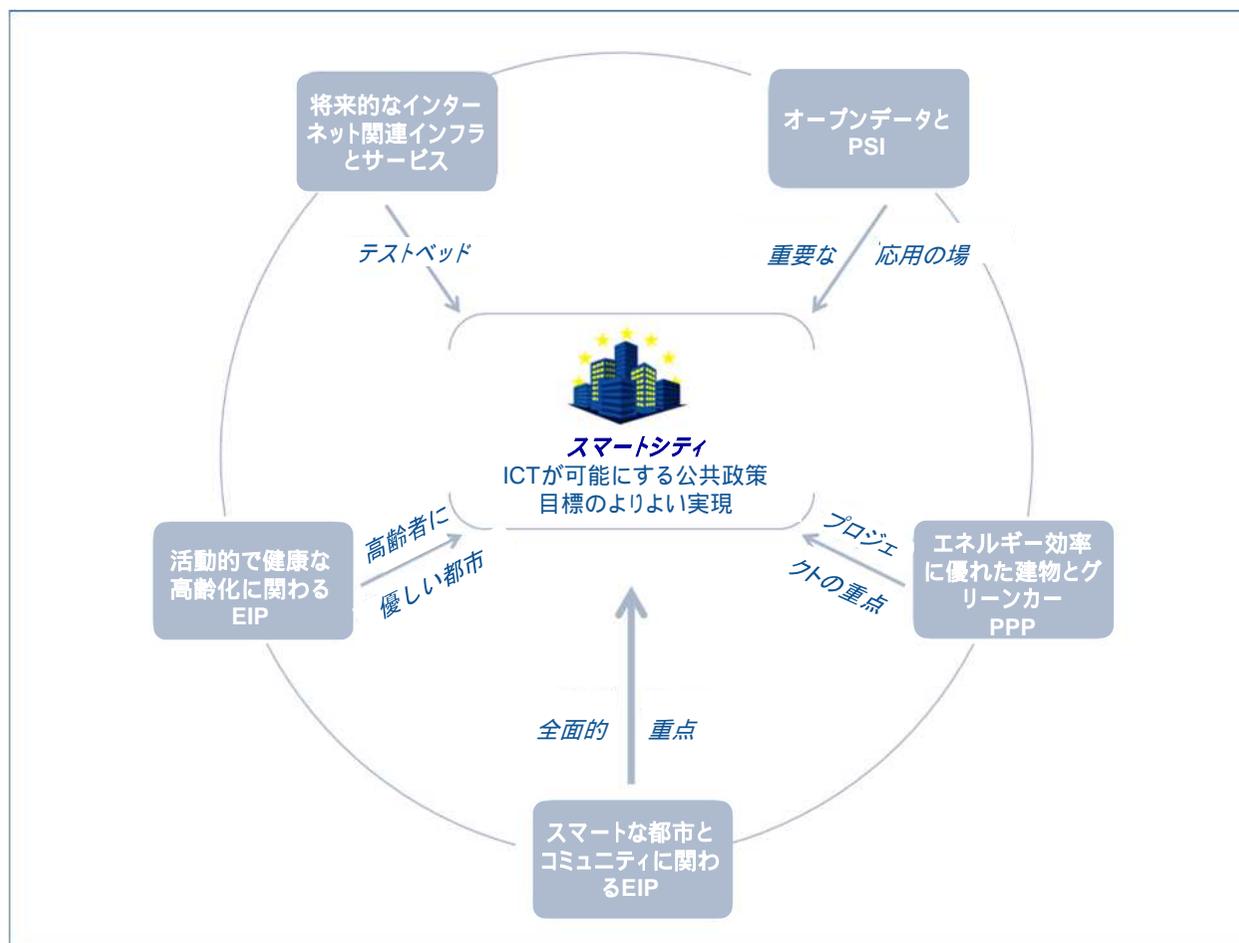


■ 新規項目

- エネルギー/交通/ICTセクター間の「サイロ化」をなくすこと
- 「ひとつ屋根」の下での欧州委員会のイニシアチブ
- 新たなテクノロジー開発のための研究よりも、テクノロジー/ビジネスモデルの融合を通じた、イノベーションに重点を置くこと
- 協調的に提案を呼びかけること
- エネルギー/交通/ICTを担当する3名の委員による共同リーダーシップ
- 気候関連の目標により補完される、サービスインフラ、オープンデータ、統一指標等の相互運用性の実現

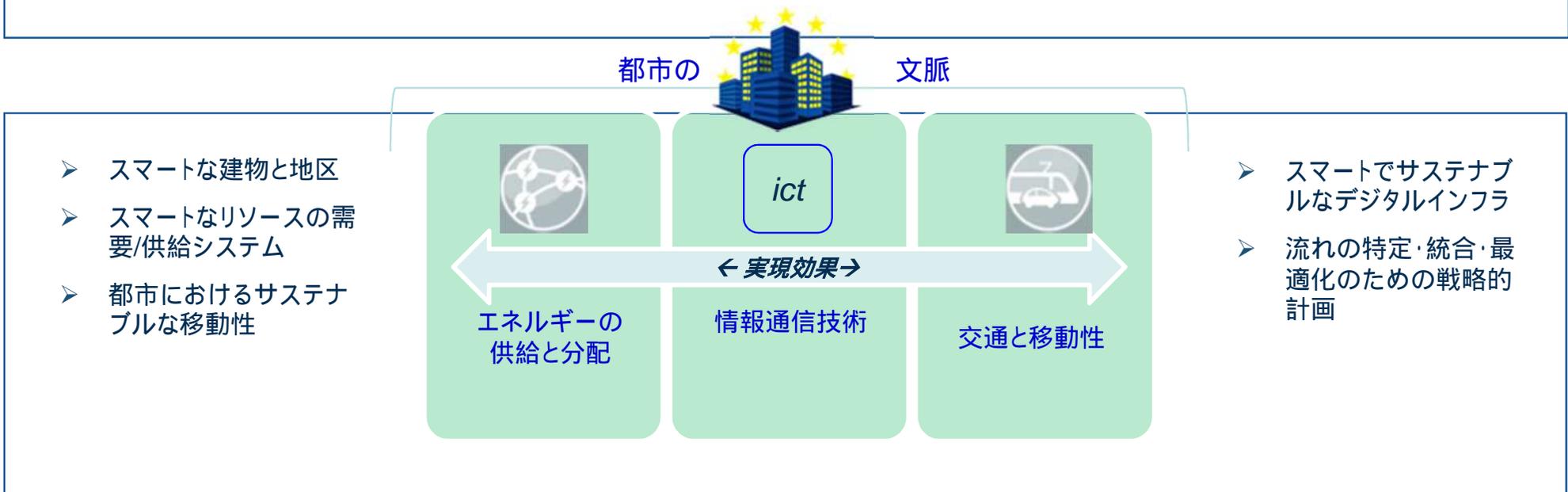
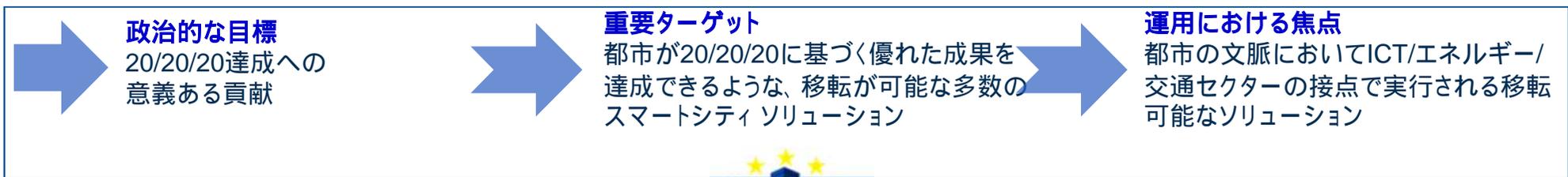


我々の目指すスマートシティアプローチに補完的に貢献する、方針およびR&I(研究とイノベーション)に関連した活動が数多く存在する





エネルギーと気候に関する課題が、都市で解決される場合も失敗する場合もあると予測される。本EIPは、こうした課題に対処する上で助けとなるソリューションの完全展開を促進することに関わる。



実施目標 – 産業スケールの開発と展開の達成



EIPの優先分野における進展の鍵を握るのは、適切な共通手段の運用である。

優先分野 ...

➤ **都市におけるサステナブルな移動性**

マルチモーダルな交通計画、代替エネルギーキャリア、スマートロジスティクス等

➤ **地区と構築された環境**

各種再生可能エネルギー、ポジティブエネルギー地区、ディープレトロフィット方式の改修等の融合

➤ **統合インフラ**

分野横断的なインフラ統合、共同の計画とビジネスモデル、共通の基準等

... ならびに共通の課題と、各課題にまたがる手段

知見とガバナンス

- 住民へのフォーカス
- 統合的な計画と管理
- 知識のシェアリング

資金の拠出と財政

- 物品調達
- 資金調達とビジネスのモデル

情報と決定

- オープンデータ
- 各種標準
- 基準値、パフォーマンス指標、メトリクス



ご清聴ありがとうございました。



ウォルフガング・ホフ
wolfgang.hoefs@ec.europa.eu

詳しくは <http://ec.europa.eu/eip/smartcities> をご覧ください。